

1 月定例記者会見資料

平成 26 年 1 月 6 日（月） 13 : 00～

ハイトピア伊賀 4 階 ミーティングルーム

1. 市長からの発表

・芭蕉翁生誕 370 年記念事業について

今回、私の後ろにあるパネルにも芭蕉のいろいろなイラストがありますが、今年は芭蕉翁生誕 370 年記念事業が行われますが、こうしたものをいろいろな所で皆さんにお使いいただけたらと考えています。

現在、市内の各種団体等で組織しております、芭蕉翁生誕 370 年記念事業実行委員会では、生誕 370 年の気運を盛り上げるため、市民の皆さん方が取り組んでいただく協賛事業や自主事業、芭蕉翁イラストを今月 31 日まで募集しています。詳しくは、募集要項をご覧ください、市民の皆さんの記念事業となるよう、たくさんご応募いただきたいと思います。

また、市では日頃、子どもたちに伊賀線に親しみや関心を持ってもらい、利用促進につなげるために、車内に幼稚園や保育所、保育園の園児たちが描いた絵画を展示するギャラリー列車を運行していますが、このたび、伊賀線のブルーの忍者列車に、芭蕉翁が「奥の細道」の旅の途中で詠んだ俳句 50 句を展示し、「奥の細道トレイン」として運行しています。今月 13 日までの運行予定ですので、こちらも是非多くの方にご乗車いただきたいと思います。

・市営白鳳門駐車場整備工事について

市役所の南にあります、市営白鳳門駐車場につきましては、昨年 3 月に丸の内交番が白鳳門駐車場の西側に移転しましたことにより、駐車可能台数が減少しています。

また、東側にあります駐輪場につきましても、屋根にさびが生じており、修繕が必要となっています。

こうしたことから、伊賀上野城の入口に位置する駐車場として、城下町のまちなみに配慮した、市民や観光客のための駐車場として整備をいたしたいと思います。

工期は、昨年 12 月 9 日から 3 月 14 日までで、今日から工事着手の予定です。また、工事費は 2,871 万 7,500 円であります。

駐車台数は、以前は 31 台でしたが現在は 12 台、整備後は 25 台になります。駐輪場の台数は現在 150 台ですが整備後は 130 台になります。平日平均は 80 台程度の駐輪ということであります。この城下町に趣をアップする空間が出現することに期待しています。

2. 1 月の主な行事予定について

(1) 平成 26 年成人式

日時：1 月 12 日（日） 11:00～(受付：10：30～)

場所：《上野地区》 崇広中学校区：ハイトピア伊賀 5 階

城東中学校区（旧桃青・府中中学校区）：城東中学校多目的ホール

緑ヶ丘中学校区：ヒルホテルサンピア伊賀

上野南中学校区（旧成和・丸山中学校区）：ゆめぼりすセンター

《いがまち地区》 柘植・霊峰中学校区：ふるさと会館いが

《阿山地区》 阿山中学校区：あやま文化センター

《島ヶ原地区》 島ヶ原中学校区：島ヶ原会館

《大山田地区》 大山田中学校区：どんぐりホール

《青山地区》 青山中学校区：青山ホール

内容：式典の内容については各地区の実行委員会で企画運営します。

問い合わせ先：教育委員会生涯学習課（22-9679）

(2) 第 54 回伊賀地区駅伝競走大会

日時：1月26日（日） 開会式 8:30～ ゆめドームうえの第1競技場

コース：男子 ゆめドームうえの～ゆめぼりす～友生～蓮池《折り返し》～友生

～四十九町～ゆめぼりす～ゆめドームうえの 6 区間 23km

女子・中学男女

ゆめドームうえの～ゆめぼりす<周回>～友生～四十九町～

ゆめぼりす～ゆめドームうえの 5 区間 13.2km

出発：男子 10:00 女子・中学男女 10:10

問い合わせ先：スポーツ振興課（47-1284）

(3) 第 12 回三重大学発 産学官連携セミナーin 伊賀

日時：1月31日（金） 13:30～

場所：ヒルホテルサンピア伊賀4階 白鳳の間

内容：《講演①》 演題 「地域資源としての森林の持続的な利用」

講師 三重大学大学院 生物資源学研究科教授 石川 知明さん

《講演②》 演題 「資源としての海の哺乳類 鯨やアシカ・アザラシとその利用」

講師 三重大学 理事・副学長 伊賀研究拠点所長 吉岡 基さん

《報告①》 「獣害対策と連動するジビエ食材『かじかの取り組み』」

いがまち山里の幸利活用組合「かじか」 中森 秀治さん

《報告②》 「伊賀有機農業推進協議会の取り組みについて」

㈱へんこ代表取締役 村山 邦彦さん

《報告③》 「RASCによる伊賀の食材普及活動について」

三重大学地域戦略センター 加治 宏基さん

《報告④》 「モクモク6次産業の取り組み」

㈱伊賀の里モクモク手作りファーム 竹内 正典さん

《総合討論》

問い合わせ：三重大学伊賀研究拠点（41-1071） 商工労働課（43-2306）

3. その他（主な質疑応答）

（記者）成人式について、市長と教育委員会の見解が違うと思いますが、その点について伺います。

（市長）このような状態で成人式を続けても意味がないということを申し上げておきます。成人式というのは地域に育った人間が地域に迎えられ、また迎えることをお互いに祝うという本来のあり方に戻すべきであると思いましたので提案をしました。

その結果、教育委員会が分散形式で実施するという成人式のあり方を考えましたので、見解が相違するものではないと思っています。

昨年の成人式は、社会人としてのマナーに欠ける状態でありました。これをよい方向に戻していかなければならないという使命感を感じています。

（記者）370年記念事業は市として何か計画していますか。

（企画課長）市では実行委員会事務局を担っており、実行委員会の事業として検討しています。自主事業、協賛事業、イラスト募集等を行っていますが、3月からの事業については、現在、オープニングの部分を計画しています。26年度については、芭蕉祭のブラッシュアップ、投句箱の設置、記念冊子の配布等を検討しています。

（記者）昨年末、ダム建設について近畿地方整備局へ行かれたと思いますが、その反応はいかがですか。また、国交省のほうはどうですか。

（市長）これまでの経緯を説明し、ダムについて従前どおりの利水をお願いしました。河道掘削、遊水池の完成、ダム建設の3点セットで、しっかりした治水をお願いしてまいりました。近畿地方整備局のほうも了解していただきました。国土交通省には1月10日に市の意思を伝えてまいりたいと思います。

（記者）大型プロジェクトについての考えをお願いします。

（市長）50年先、100年先の伊賀地域を見据えた決断をしていかなければならないと思いますし、市街地の活性化についても手段と目的を履き違えてはいけないと思っています。目的は、まちを賑やかにして地域を元気にすることであり、そのためにはいろいろな手段、方策、戦略というものがあり、いろんなメニューも使えるものは使って元気な地域づくりを進めていくことが大事であると思っています。

（記者）伊賀地域についての見解をお伺いします。

（市長）伊賀地域は生活共同圏として、南山城、東大和、宇陀も含めて一つの生活圈、医療圏

であると思っています。そういう意味で、伊賀地域の中で二つのまちは一つになるべきと考えています。

（記者）庁舎の位置についての考えをお伺いします。あの場所は名張市との合併を考えてのことですか。

（市長）当時、県民局があの場所へ出来たのはいろいろな綱引きの結果、名張の人もよいという位置であったわけですから、今後、庁舎はここにあるよりも南にあるほうが理解が得られやすいと思います。

（記者）医療圏について、3病院はどう考えますか。

（市長）伊賀地域の医療のあり方を考えていかなければならないと思っています。市民が安心できる医療体制を構築できれば形にはこだわりません。